

小倉工業北辰会報

編集兼発行
北九州市小倉北区
白萩町6-1
福岡県立小倉工業高校
北辰会事務局
TEL 093(571)1124
FAX 093(583)4924

平成十八年度総会



副会長

深堀 武俊(昭三十年電卒)

教育振興基金理事長

徳本 高久(昭三十五年機卒)

体育後援会長

江角智恵子(昭三十八年工化卒)

教育振興基金副理事長

森 一政(昭四十一年電卒)

科学奨励学会会長

下田 豊一(昭五十年機卒)

体育後援会副会長

専光寺広泰(昭五十七年工化卒)

教育振興基金理事

監査

岡田 豊実(昭四十一年電卒)

教育振興基金監査

上田 稔(昭四十七年電卒)

教育振興基金監督

事務局長

坂田 智之(昭三十六年機卒)

事務全般・財政・渉外

長野会長以下全員二期日

となります。

会員の皆様のご支援ご協

力賜りますようお願い申し

上げます。

懇親会では、母校郷土芸

能部による小倉祇園太鼓

の迎え太鼓で会員が入场し

関東支部の野見山誠一氏(昭

和三十六年電気科卒)七月

一日に支部長に就任)の乾杯

の発声により和やかに歓談

が始まりました。アトラク

ションでは、菅本隆幸氏(昭

和二十九年機械科卒)ご夫

妻によるバナナのたき売

りが行われ、恒例のビンゴ

ゲームで最高に盛り上がり

ました。

副会長

深堀 武俊(昭三十年電卒)

教育振興基金理事長

徳本 高久(昭三十五年機卒)

体育後援会長

江角智恵子(昭三十八年工化卒)

アスレチックジムが完成しました

九州厚生年金会館が営業していたアスレチックジムの廃止に当り、廃棄処分したトレーニング設備を、同会館営業副支配人である武藤巨氏(昭

本年度当番幹事の中村修幹事長が挨拶を述べた後、次年度当番幹事となる昭和五十九年卒の皆さん約十名が壇上に登り、心強い決意表明がありました。



最後は近畿支部の吉牟田浩支部長(昭和三十年電気科卒)の萬歳三唱で閉会となりました。

平成19年度入学生から

「我が校の得意技コース制」スタート



教頭
平野 孝幸

北辰会の皆様には、ますます御活躍のこととお喜び申し上げます。日頃から、北辰会の皆様には物心両面にわたる、在校生に對してご支援いただき、心から感謝致します。お陰様で、生徒たちは明るく充実した環境の基で、学業面はもとより、学校行事、部活動、資格取得等々日々熱心に取り組み、大きな成果をあげています。



さて、先の北辰会報でも記載させていただきましたが、平成十九年度入学生から本校は、現行の五つの学科から少し大きな三つの枠組みで生徒を募集し、二次次からは十の専門のコースに分かれて学習する「我が校の得意技コース制」をスタートします。

具体的には、図に示すように、中学校から生徒たちは、機械(八十名)・電気(八十名)・化学(四十名)の三つの系から、希望する専門の系を選択して入学することになります。一年次にはそれぞれの系に合わせた基礎・基本の学習を行います。そして、二次次からは、生徒の興味・関心・適性や進路希望に応じて、各系の中にある専門コース(機械系四コース、電気系四コース、化学系二コース)を選択して学習し得意技を習得して、自動車・IT・環境関連産業等で活躍できる実践的技術者(エンジニア)を目指します。

体育後援会報告

八月二十六日(土)、昨年に引き続き、体育関係者を激励する会が行われ、母校体育関係者を始め部活動OB諸氏、P

最終調整を行っています。輝かしい歴史と伝統を誇る本校ですが、伝統は守っていくものではなく、継承しながらも新たに築き上げていくものだと考えます。得意技コース制のスタートを機に、これまで以上の伝統を築いていくよう職員、生徒ともども一丸となって全力で邁進する所存です。

最後に、同窓会の皆様や北辰会のますますのご発展を祈念いたしますとともに、今後一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

野球部私設後援会会長 辻 義之(昭三十四年機械卒) 毎日の練習にもベンチ入りする程の熱の入れよう、特に夏期合宿では寄付を集めて自ら合宿に参加し、焼肉の差し入れ等の支援。今後共、益々のご支援をお願いいたします。



北辰会ホームページ

- ・4月~10月までの総アクセス数：約16,422回
アクセス人数：約3,000人
- ・アクセス場所順位
1位：福岡県 2位：東京都 3位：神奈川県
4位：大分県 5位：大阪府
- ・掲示板投稿記事数：14

北辰会ホームページは、アクセスが増え現在までに延べ4,000人の方にご覧いただいています。更なる同窓会の機能として先輩OB方や後輩をつなぐコミュニケーションの場を広げていきたいと思っています。

北辰館1階のリニューアル後、今後の活動としまして地域社会に開かれた学校作りと同窓会も協力する一環の中で、誰でも自由に学習できるパソコン教室を設立することを計画しております。事前アンケートでは46名の在校生から参加希望を頂きました。

北辰会会員の方で、このプロジェクトに参加をしてくれる方を募集しております。機材提供、講師などパソコンの知識をお持ちの方大歓迎です。ご質問等は北辰会ホームページにて受け付けております。よろしくお願ひします。

Yahoo! JAPANにて【北辰会】で検索して頂くか下記URLを直接入力してください。
[http://www.hokusin.net]

工業化学科一期生 傘寿を祝う

傘寿を祝うはたち会に引き続き、化学科一期生のみの祝宴を十月二十二日、福津市ウエルサンピア福岡にて開催した。

幹事の犬田在任の中原君に、卒業後母校の教師を勤めた千葉県習志野市の門元君を迎え、北九州市及び近郊の六名、計八名が参加した。

昭和十七年四月、新たに創設された応用化学科に入學したのは四十五名であった。科長は校歌の作曲者である大石正寿先生であった。二年生になって大石先生が新設の宮田工業学校の校長に転出され、高崎寿雄先生(後に校長)を科長としてお迎えした。

戦後の厳しい環境の中、同級生は病気で休学する者が続出し、その後留年、中退

海軍に志願した者で激減し、二十年三月に卒業した者は二十二名、その後予科練から復員復校した者三名が第三種として十二月に卒業し、合計二十五名である。

現在、準会員を含め十六名中八名の出席は盛会であったと言える。

翌日、宮地獄神社に昇殿参拝し、宗像大社、鎮国寺、高倉神社で長寿を祈願、三年後の再会を約して解散した。(文責・山本)



平成18年10月23日 宮地獄神社 工業化学科1期生会

学校だより

サブグラウンドの照明設備が完成 有志寄贈

兼ねてより念願であった、サブグラウンドに立派な照明設備が完備されました。

篠崎会会長・岡田豊実氏(昭四一年電気卒)、上田稔氏(北辰会監査役・昭四十七年電気卒)、その他有志のご尽力によるもので、現在主に野球部バッチ



陸上部期待の星 荒尾 奨吾君(機三年)

小倉工業へ入学して陸上を始め、短距離でメキメキ頭角を現わし、二年生の時にインターハイ出場、九州新人大会優勝、国体出場五

部活動

陸上部期待の星

荒尾 奨吾君(機三年)

小倉工業へ入学して陸上を始め、短距離でメキメキ頭角を現わし、二年生の時にインターハイ出場、九州新人大会優勝、国体出場五

平成17年度 北辰会決算書 及び 平成18年度 予算案

費目	平成17年4月1日~平成18年3月31日		対比増減	摘要	平成18年度予算額	摘要
	予算額	決算額				
前年度繰越金	157,561	157,561	0		177,512	
同窓会費	4,000,000	3,636,000	364,000	1,818件	4,000,000	@2,000円×2,000名
新卒者入会金	3,480,000	3,480,000	0	232名分	3,480,000	@15,000円×232名
預金利息	5	2	3	普通2円	3	
名簿販売金	66,000	57,400	8,600	13冊	67,500	@4,500円×15冊
雑収入	296,434	401,000	△104,566	寄付350,000円含む	274,985	
合計	8,000,000	7,731,963	268,037		8,000,000	
支部還元金	350,000	299,000	51,000	支部活動支援費	350,000	支部活動支援費
組織対策費	300,000	234,659	65,341	組織対策強化費用	250,000	組織活性化・組織強化費
大名簿編集費	1,000,000	1,000,000	0	名簿積立金	1,000,000	平成23年度改訂積立金
体育後援費	1,000,000	1,000,000	0	部活動支援費用	1,000,000	部活動支援費用
事務手当	800,000	800,000	0	事務局長手当	800,000	事務局長手当
人件費	1,300,000	1,305,260	△5,260	パート代	1,300,000	事務局パート代
印刷費	200,000	57,768	142,232	印刷機リース代・インク代等	120,000	印刷機リース代・インク代等
会報費	1,300,000	1,500,802	△200,802	北辰会報春秋号	1,400,000	北辰会報印刷送
会議費	150,000	111,700	38,300	理事評議員会・支部代表者会議	150,000	理事評議員会・支部代表者会議
通信費	300,000	303,857	△3,857	電話代・報知機代・案内等	350,000	電話代・会議室代・報知機代等
旅費交通費	300,000	229,740	70,260	近畿・関東総会出席旅費を含む	250,000	支部総会等出席旅費・事務局次長
永年勤続表彰費	0	0	0	0名	90,000	学校職員10名勤続者3名
慶事費	200,000	150,000	50,000	各支部総会祝儀	150,000	各支部総会祝儀等
産業教育振興費	10,000	5,000	5,000	1口	5,000	産業教育等協賛費年会費1口
事務用品代	100,000	108,314	△8,314	コピー保守料を含む	130,000	事務用品・コピー保守費用
振替手数料	100,000	70,930	29,070	会費振替手数料	120,000	会費振替手数料等
雑費	50,000	44,905	5,095	茶葉代等	50,000	茶葉代等
事務局運営費	300,000	260,859	39,141	水道光熱費・家賃・清掃代等	300,000	水道光熱費・事務局清掃代・家賃
予備費	240,000	71,657	168,343	北辰会費・空気清浄機購入等	185,000	
合計	8,000,000	7,554,451	445,549		8,000,000	
次年度繰越金		177,512				繰越34,457円 現金143,055円

平成17年度 北辰会定期総会決算書 (昭和57年度卒当番幹事)

費目	金額	摘要
総会会費	1,635,000	@5,000円×327枚
広告料	2,010,000	@5,000円×402口
雑収入	532,094	祝儀190,000円 イベント収入279,150円 前年度準備金52,944円 その他10,000円
合計	4,177,094	
総会費	2,509,165	総会飲食費、会場関係費、会場費、アトラクション代、写真代、総会資料及び会費券等印刷代、送料等
当番幹事会議費	294,725	当番幹事会議費及び反省会費
事務局運営費	1,373,204	事務局運営費322,880円 次年度準備金202,917円 同窓会寄付350,000円 会報送料497,407円
合計	4,177,094	
差引残高	0	

平成17年度 教育振興基金決算書

費目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備考
前年度繰越金	12,465,344	12,465,344	0	前年度繰越金
同窓会募金	1,400,000	1,161,100	△238,900	17年度寄附、昭和39年卒・電気・大山勝氏外631名
寄付金	1,500,000	1,580,000	80,000	江角智恵子氏より 朝日新聞社支部より 山下朋洋氏より 北辰会小倉北支部より S30年卒業生同期会より オープンゴルフコンパ売上金 退職者 原参事兼事務局長より 退職者 大林郁夫氏より
雑収入	256	98	△158	預金利息
合計	15,365,600	15,206,542	△159,058	
特別奨学金費	0	0	0	
山田奨学会費	626,400	626,400	0	@14,250円×6月×4名(前期) @11,850円×6月×4名(後期)
科学研究奨学会費	500,000	500,000	0	科学研究奨学会へ
部活動奨励費	500,000	141,500	358,500	ハンドボール部ユニフォーム購入代補助 陸上部インターハイ出場補助 100,000円 ものづくり全国大会出場補助 20,000円 陸上部国体出場補助 20,000円
教育研究奨励費	200,000	140,000	60,000	
国際研修費	600,000	0	600,000	
管理費	200,000	177,670	22,330	振込用紙印刷代・寄付金受領用 八力半代・振込手数料
事務費	300,000	300,000	0	同窓会負担金補助
予備費	12,439,200	0	12,439,200	
合計	15,365,600	1,885,570	13,480,030	

収入額15,206,542円-支出額1,885,570円=13,320,972円(次年度へ繰越)

会費納入及び 教育振興基金 納入のお願い

同窓会「北辰会」が、健全な活動を維持していく礎は年額二千万の北辰会費です。

北辰会事務局は、今後とも会員各位へのサービスを向上させ、母校の発展のために努力を重ね、事務の効率化と経費削減に努めて行く所存です。

しかし、最低限の運営経費を確保していかねば、北辰会の運営そのものに支障をきたします。

北辰会の健全な活動の基本であります「年会費」の納入を宜しくお願い申し上げます。

また、母校生徒の就学、部活動に対する支援の為の教育振興基金にご理解賜りご協力下さいますよう、併せてお願い申し上げます。

もくろみ

九州大会 一位 野口昇平君(電子三年)

全国大会に出場

【化学分析部門】 二位 岡村佳澄君(工化三年)

四位 北村寛司君(工化三年)

【施盤加工部門】 五位 山崎潤一君(機三年)

▽書道 福岡県高総祭書道部門揮毫大会 特選入賞 小畑哲平君(機二年)

技能五輪全国大会

平成十八年十月二十日から二十四日まで高松市で開催された二〇〇六年度第四十四回技能五輪全国大会において、本校卒業生が金賞二名、銀賞一名、銅賞一名、チーム(二名)、敢闘賞二名という素晴らしい成績を収めました。

なお清水輝君と土谷幸司

平成17年度にご逝去された方々

君は、二〇〇七年十一月に静岡県で開かれる世界大会に出場されます。

▽電子機器組立て部門 金賞 清水 輝 (平成17年電子科卒)

▽金賞 清水 輝 (平成17年電子科卒)

▽電子機器組立て部門 金賞 北條 孝典 (平成15年電子機械科卒)

▽金賞 北條 孝典 (平成15年電子機械科卒)

▽機械組立て部門 銀賞 土谷 幸司 (平成16年電子機械科卒)

▽銀賞 土谷 幸司 (平成16年電子機械科卒)

▽メカトロニクス部門 銅賞(チーム) 豊田自動車 (平成14年電子機械科卒)

▽銅賞(チーム) 豊田自動車 (平成14年電子機械科卒)

▽敢闘賞 牧野 泰典 (平成16年電子機械科卒)

▽敢闘賞 牧野 泰典 (平成16年電子機械科卒)

▽電子機器組立て部門 敢闘賞 木戸 智 (平成16年電子科卒)

▽敢闘賞 木戸 智 (平成16年電子科卒)

平成17年度にご逝去された方々 (平成17年5月11日より平成18年5月15日までに連絡のあった方々)

昭6年機	山口 静男	昭27年機	家迫 正隆
昭8年機専	岩谷 光男	昭27年機	吉国 暖夫
昭10年機	田端 久盛	昭27年機	松本 治
昭12年電	高橋 健二	昭28年化	加来 明雄
昭14年電	嶋田 精蔵	昭30年機	泉 満洋
昭16年電	園田 良彦	昭30年機	清水 秀臣
昭16年機	佐々木 到	昭30年機	吉山 隆敏
昭16年電	石田 清司	昭30年電	岡本 敏幸
昭17年機本	藤原 義隆	昭34年電通	東田 弘實
昭18年機1	立川 義人	昭35年機	古賀 健司
昭18年電	東 正義	昭35年電	中村 興生
昭21年化3	大田 道郎	昭36年機	山根 徳男
昭26年機	植村 俊之	昭36年機	横山 隆二
昭26年電	網田 省吾	昭36年電通	寿崎 正憲
昭27年機	佐々木 實男	昭41年機	尾座 俊治
昭27年機	登本 正人	昭47年電子	川床 芳尋
昭27年機	重松 広次	昭57年電子	池側 康雄